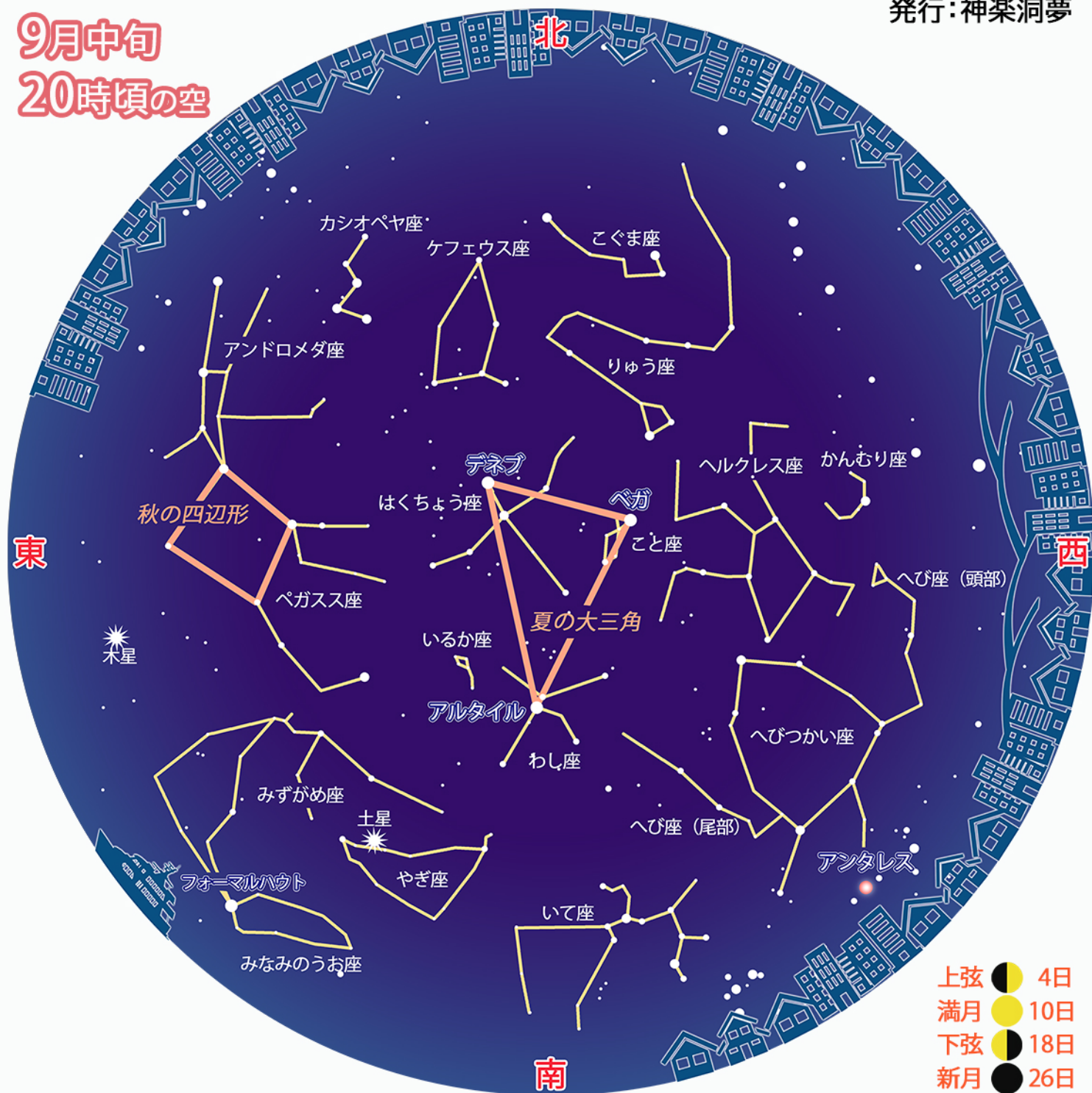


9月中旬
20時頃の空

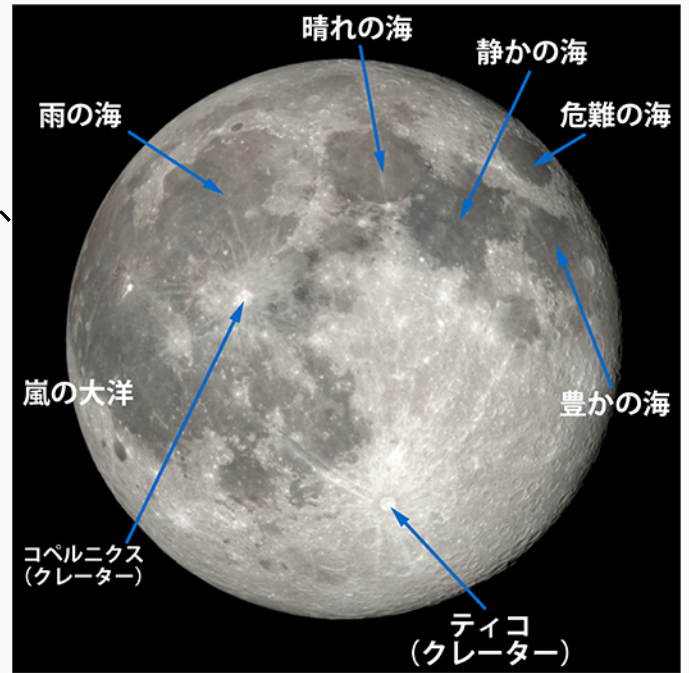


旧暦だと秋を最も感じるはずの9月ですが、近頃はなかなか季節を感じにくくなったのか、暑さもまだまだ残っていますね。
空を見上げてみると、南から東の空にかけて、土星と木星が明るく輝いているのが見えます。夏の三角形も天高く昇り、東の空には秋の星座も見えるようになってきました。夜空を眺めながら、夏から秋への季節の移り変わりを楽しんでみてはいかがでしょうか。

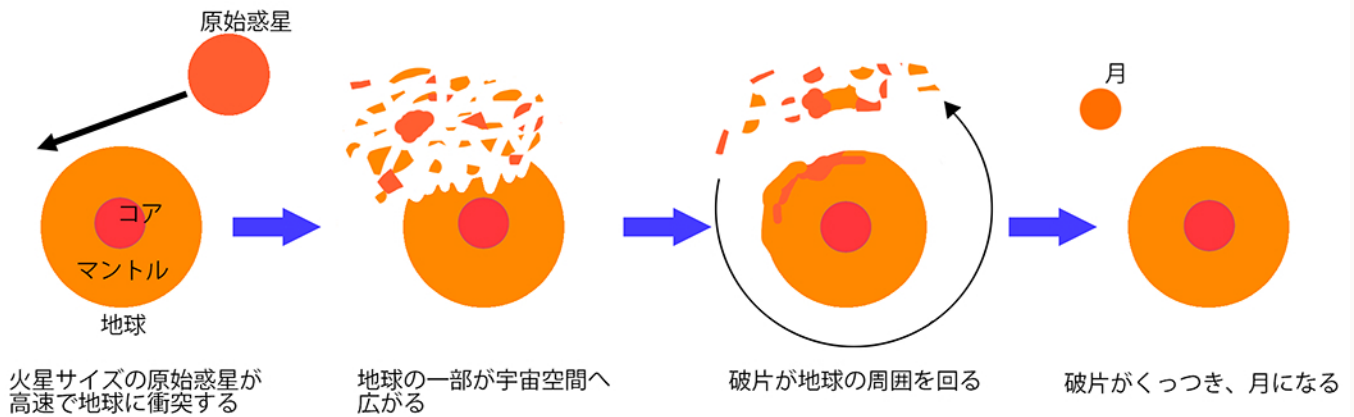
秋の月を楽しもう！

今年の中秋の名月は9月10日で、この日はちょうど満月です。月面の模様をウサギやカニなどに例えることが多いですが、それらの模様は隕石が衝突した跡である「クレーター」や、溶岩が地表に噴き出してできた「海」と呼ばれる地形で作られています。

月には大気がほとんど無いため、クレーターや噴出した溶岩などが風化することなく、楽しむことができるんですね。



月の成り立ちに関しては諸説あり、現在有力とされているのが、「ジャイアント・インパクト説」というもの。これは、地球ができてまだ日が浅い段階で、火星サイズの原始惑星が地球に衝突し、その際に宇宙空間に広がった地球の破片が次第に集まり、現在の月のもととなったという説です。まだ衝突の跡も見つかっていないので、今後の研究に期待ですね。



さて、壮大な誕生劇があったかもしれない月ですが、地上から眺めると、優しい光を私たちに届けてくれます。中秋の名月である9月10日の月の出の時刻は津市で18時24分、月の入りは翌4時52分で、ひと晩中私たちに照らしてくれます。

月の誕生などに思いをはせながら月を見上げてみてはいかがでしょうか。